

At a Glance

SBIグループの事業概況(2015年3月期)

事業内容

Financial Services Business



金融サービス事業

インターネットを通じた
革新的で利便性の高い
金融商品やサービスを提供

- 証券関連事業
- SBIマネープラザ
- 銀行関連事業
- 金融メディア関連事業
- 保険関連事業

従業員数^{*1}



Asset Management Business



アセットマネジメント事業

国内外のITやバイオテクノロジー、
環境・エネルギー、金融関連の
ベンチャー企業等へ投資

- ベンチャーキャピタル事業
- 海外における投資事業
- 海外における金融サービス事業

従業員数^{*1}



Biotechnology-related Business

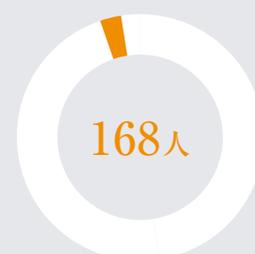


バイオ関連事業

さまざまなパートナーと連携して
医薬品、健康食品及び化粧品の
研究開発・製造・販売を展開

- 最先端のバイオテクノロジーを駆使した
新たな医療、医薬品の研究開発
- ALAを用いた医薬品・健康食品・化粧品の
研究開発

従業員数^{*1}

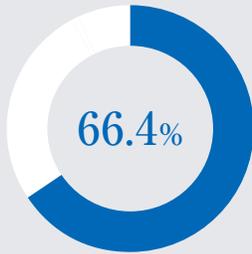


※1 全社共通人員など148名を除く

※2 投資育成等のために取得した企業のうち支配していると認められ、連結子会社として認識される企業の従業員2,287名を含む。

業績サマリー

事業別の
営業収益構成比



営業収益

1,626億円

前期比 148億円 ↗

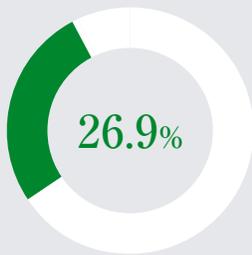
税引前利益

673億円

前期比 300億円 ↗

▶ 収益力強化に向けた金融サービス事業各社の独自の施策が奏功し、SBI証券、SBIジャパンネクスト証券、SBIリクイデティ・マーケット、SBI FXTレード、SBIマネープラザ、モーニングスター、住信SBIネット銀行が過去最高益を更新したほか、SBI損保とSBIカードが大幅な損失改善を果たし、営業収益は前期比10.0%増の162,645百万円、税引前利益は同80.5%増の67,309百万円となり、大幅な増収増益を達成しました。

事業別の
営業収益構成比



営業収益

658億円

前期比 69億円 ↘

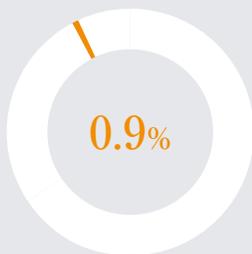
税引前利益

81億円

前期比 9億円 ↘

▶ 保有上場銘柄の株価下落や原油価格の下落の影響を受けた米国シェールガス関連銘柄の評価損を中心に、43億円の公正価値評価の変動による損失を計上。他方、韓国のSBI貯蓄銀行がIFRS連結ベースで167億円の税引前利益を計上し、セグメント業績を支えた結果、営業収益は前期比9.5%減の65,843百万円、税引前利益は同9.5%減の8,132百万円となりました。

事業別の
営業収益構成比



営業収益

22億円

前期比 0億円 ↘

税引前利益

△73億円

前期比 49億円 ↘

▶ SBIバイオテックの子会社である米国クォーク社において、CRO（開発業務受託機関）の不振を受け保有するパイプラインに関する評価を見直したことで約38億円の一時的な損失を計上したことや、2014年3月期は医薬品の開発シーズの譲渡という特殊要因があったこと等により、営業収益は前期比0.6%減の2,182百万円、税引前損失は7,310百万円（2014年3月期は2,432百万円の損失）となりました。

※3 その他の事業として、賃貸住宅の家賃保証業務や会員制健康関連サービス事業などがあります。